



上末っ子

令和元年年10月1日

10月号

横浜市立上末吉小学校

～ 学び合い 支え合い 一人ひとりが輝く上末っ子 【学び合い】【共生】【自立】 ～

主体的に考え、発信できる力

校長 矢島 孝幸

9月の初旬に関東地方を襲った台風。本校も窓ガラスにひびがはいったり、雨漏りがあったり、梅の木が傾いたり、様々な被害がありました。運動場をはじめとする学校敷地内の大量の落ち葉に改めて風雨の強さを実感しました。そのような中、朝早くから学援隊の宅間様が落ち葉を掃いて職員玄関前やバス停前の階段、飼育小屋前をきれいに清掃してくださいました。学校周辺では、地域の方々が通学路の落ち葉の清掃をしてくださいました。子どもたちが安全・安心に登校できるのは、地域の方々のおかげです。改めて感謝申し上げます。

この台風で花壇のひまわりも残念ながら倒れてしまいました。しかし、ひまわりの根元のオジギソウは元気に育ち、かわいらしい花をたくさん咲かせています。オジギソウの葉は触るとスッとしぼむので、子どもたちに人気があります。1年生とオジギソウを見ていると「校長先生、オジギソウは台風に勝ったね。」と話しかけられました。台風に勝つという発想の豊かさに感心しました。子どもならではの純粋な発想は心をポカポカにしてくれます。上末っ子の心の豊かさを感じたひと時でした。



9月の人権員会、代表委員会に参加しました。人権委員会では、12月の人権週間に向けた取組についての話し合いです。3年生以上の各学級の人権委員が、学級の取組目標に照らして全校での取組について意見を出し合いました。具体的な方向性はなかなか見えてきませんが、人権委員一人ひとりが人権テーマの実現に向けて、自分の考えをもち話し合うことに大きな価値があります。話し合いを重ねることで「一人ひとりの個性をみとめ合える上末っ子」が実現することを期待します。代表委員会では、あいさつ運動に続くニコニコチャレンジの



取組についての話し合いです。最初は学級の意見の発表でしたが、話し合いが進むにつれ活発に自分の意見を発表する姿が見られるようになりました。4年生以上の各学級からでた意見をまとめるのはなかなか難しく、担当の先生がアドバイスをし、司会が全体の意見をまとめていきました。学級での活動以外でも自ら思考し、仲間の意見

を聞き、自己の考えを発信する活動や場面がたくさんあります。このような活動に積極的に参加することで自らの学びを深めることができます。たくさんのかかわりを通して自ら学び、考え、自己表現できる力を育めるよう日々の教育活動を大切にしていきたいと思っております。